

私立大学戦略的研究基盤形成
支援事業「タンパク質の生成
と管理」セミナー



生命科学
セミナー

演題: Assembly 因子が関与する細菌リボソーム 生合成の過程

演者: 後藤史門 博士

弘前大学・研究機関研究員

要旨: リボソームの数十を超えるコンポーネントはどのようにして迅速かつ正確に精密な翻訳機械へと組み上げられるのだろうか。リボソーム assembly に関与する因子の存在が早くから予想されており、これまでに細菌リボソームの assembly 因子の候補が数十挙げられている。しかしながら、リボソーム生合成のいかなる過程でどのように機能するのか、具体的に示されている例は皆無であった。我々が発見し、この最初の一例となった GTPase RsgA の機能と、これによって明らかになった 30S サブユニット生合成の後期の過程を紹介する。

日時: 2014年12月25日(木)

16時30分～18時00分

場所: 15号館1階 15102セミナー室

世話人: 生命システム学科
中山 秀喜

共催: 京都産業大学総合生命科学部
私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「タンパク質の生成と管理」